

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第4巻第47号

第47週(11月15日～11月21日)

発行年月日:平成16年(2004年)11月26日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (47週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (47週)	全国 (47週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	9	533	7	459
	腸チフス	0	2	62	0	60
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	21	3,482	8	2,635
4類感染症	E型肝炎 ^{(*)2}	0	1	27		
	オウム病	0	1	38	1	44
	ツツガムシ病	0	0	160	2	380
	デング熱	0	2	43	0	31
	マラリア	1	2	65	0	77
	レジオネラ症	0	0	140	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	8	519	3	504
	ウイルス性肝炎	0	5	270	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	151	3	115
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	50	0	52
	後天性免疫不全症候群	0	5	1,008	8	949
	ジアルジア症	1	2	80	0	99
	梅毒	0	3	451	2	493
	破傷風	0	2	91	1	69
	急性脳炎	1	1	117	0	98

*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

2) 定点把握の対象となる5類感染症

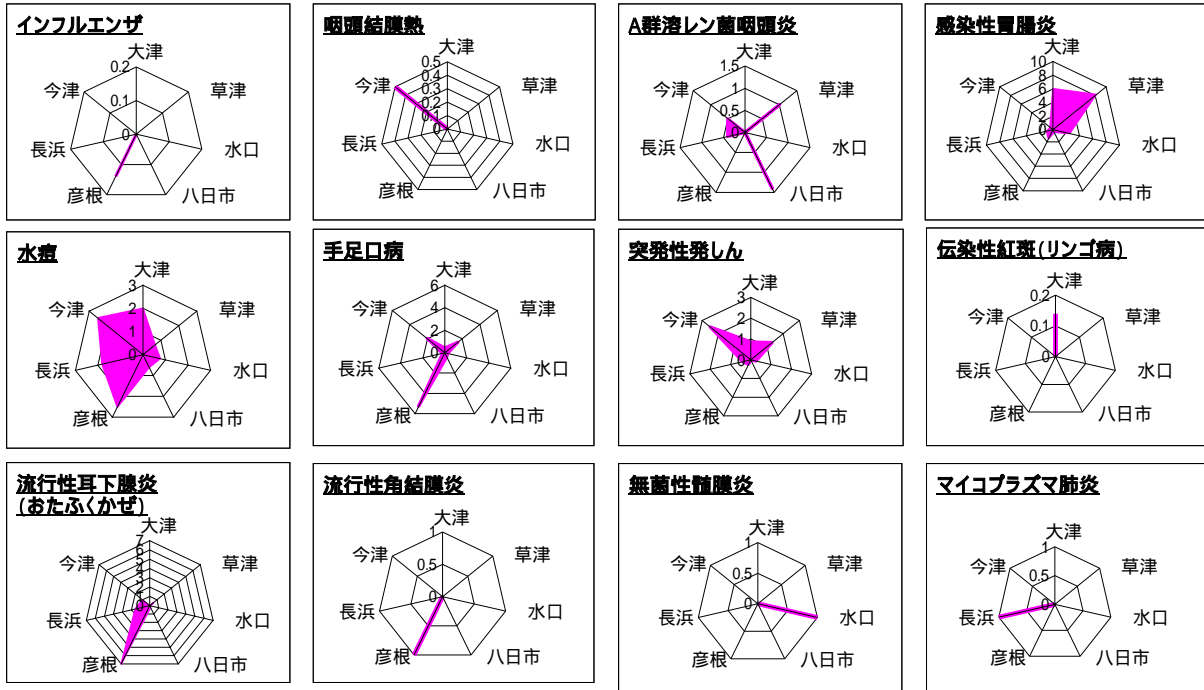
(1) 疾病別・週別発生状況(第42～47週、10/11～11/21)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	42週		43週		44週		45週		46週		47週	
	(10/11～)	(10/18～)	(10/25～)	(11/1～)	(11/8～)	(11/15～)	43	44	45	46	47	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0.02						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.36	0.03	0	0	0.03	0.03						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.15	0.52	0.09	0.36	0.39	0.48						
感染性胃腸炎	1.70	1.39	1.94	2.00	1.82	3.48						
水痘	0.52	0.79	0.52	1.24	1.27	1.45						
手足口病	0.73	1.15	1.09	1.03	1.03	1.24						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0.15	0	0	0.03						
突発性発しん	0.70	0.70	0.27	0.27	0.48	0.70						
百日咳	0	0	0	0	0.06	0						
風しん(三日はしか)	0.06	0.03	0	0.06	0	0						
ヘルパンギーナ	0.09	0	0	0.03	0.09	0						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.76	0.85	0.76	1.18	1.30	1.27						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0	0	0.43	0.43	0.14	0						
細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0	0	0	0.14						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.43	0.29	0.29	1.29	0.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第47週、11/15～11/21)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0.02	0	0	0	0	0.14	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	0	1.00	0	1.40	0	0.40	0.50
感染性胃腸炎	3.48	6.00	8.17	2.50	0.40	1.50	1.00	0.50
水痘	1.45	2.00	0.67	0.75	0.60	2.50	1.80	2.50
手足口病	1.24	0.43	1.50	0.25	0.40	5.25	0.20	2.00
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.70	0.86	1.33	0.25	0	0.25	0.40	2.50
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.27	0	0.50	0	0.20	7.00	1.60	1.00
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	1.00	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。感染性胃腸炎については大津および草津で多くなっており、水痘については八日市で先週より減少し今週は彦根で増加しています。突発性発しんについては大津、草津および今津において先週より増加しており、流行性耳下腺炎については先週に引き続き彦根で多くなっています。また、インフルエンザの発生については彦根から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の発生は増加傾向持続 感染性胃腸炎の発生は急増

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(11月8日～11月14日)の報告数よりかなり多くなっており、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、突発性発しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で増加を示しています。特に、感染性胃腸炎の増加が著しくなっています。また、インフルエンザの発生は彦根保健所管内から報告されています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数1.82より急増し3.48となり**大津**および**草津**保健所管内で多くなっています。例年、冬季に増加する傾向がありますので感染予防に十分注意する必要があります。

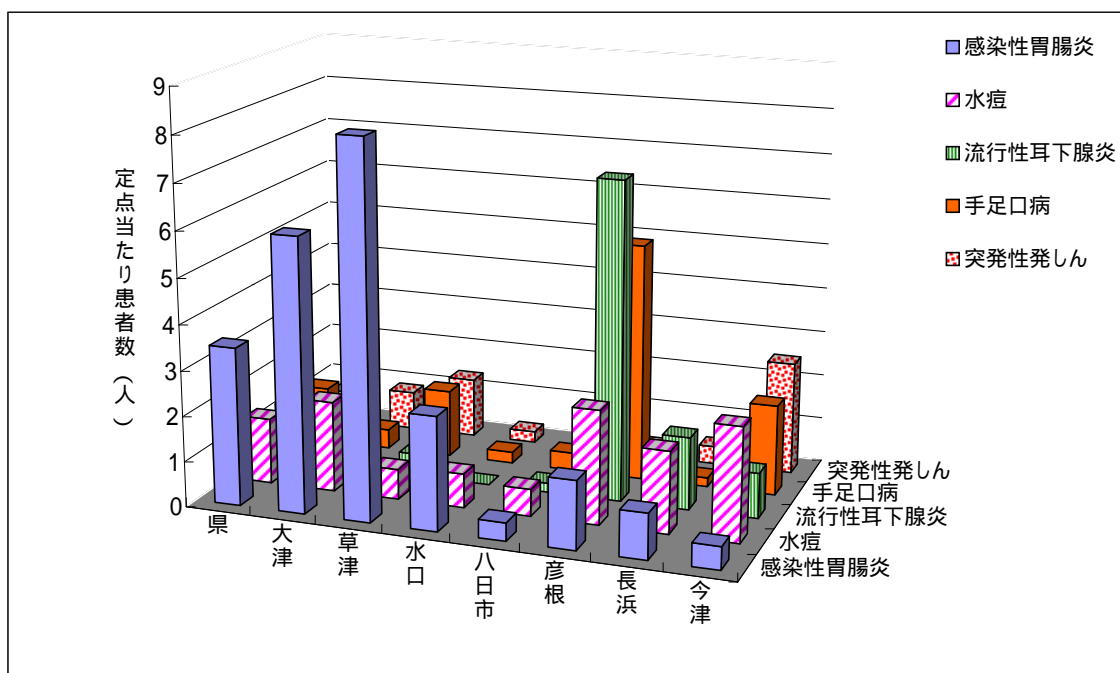
感染予防についての一般的な注意は手洗いを十分にする、うがいをする、十分な睡眠と栄養をとり体調を整える、患者との濃厚な接触を避けるなどです。

また、47週における年齢別発生状況は5歳以下に多く全体の69.6%を占めていますが、20歳以上においても全体の10.4%を占め女性に多く発生しています。

手足口病については、先週の定点当たり患者数1.03よりやや増加し1.24となっていますが、昨年同時期の定点当たり患者数0.22と比較するとかなり多くなっています。また、彦根保健所管内においては5.25と特に多くなっています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、先週の定点当たり患者数1.30よりわずかに減少し1.27となっていますが、彦根保健所管内においては先週の定点当たり患者数6.75よりさらに増加し7.00となっています。また、47週における年齢別発生状況は1～7歳で発生しており特に4歳児に多く、全体の28.6%を占めています。

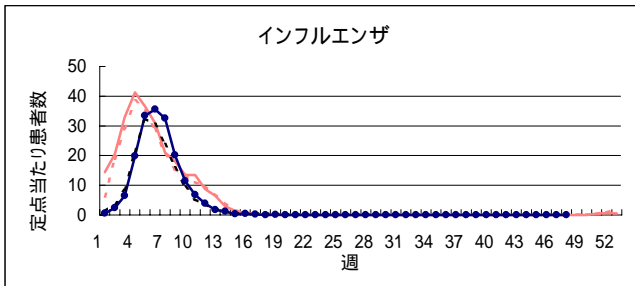
上位5疾患の保健所管内別発生状況(平成16年第47週、H16.11.15～H16.11.21)



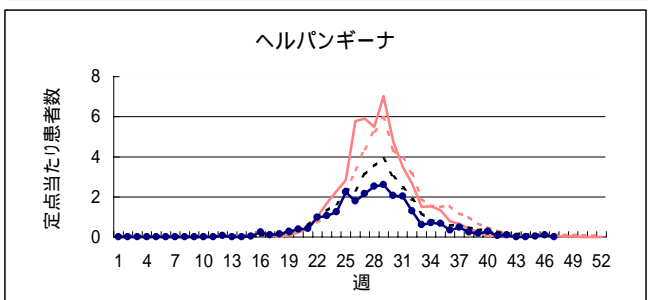
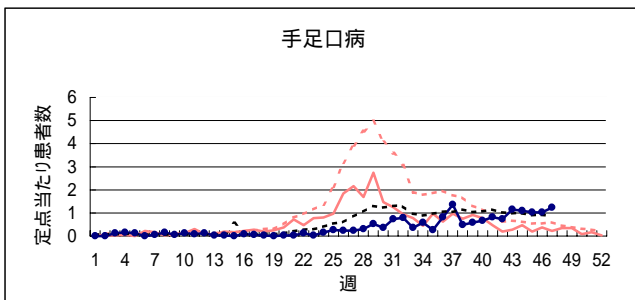
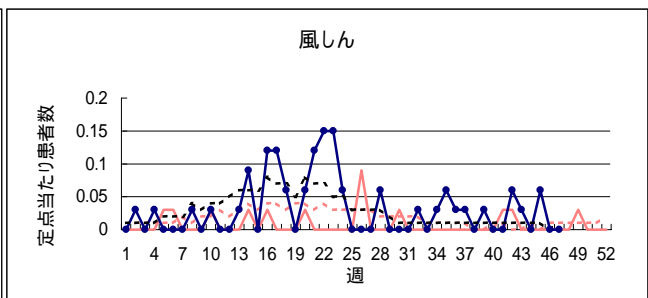
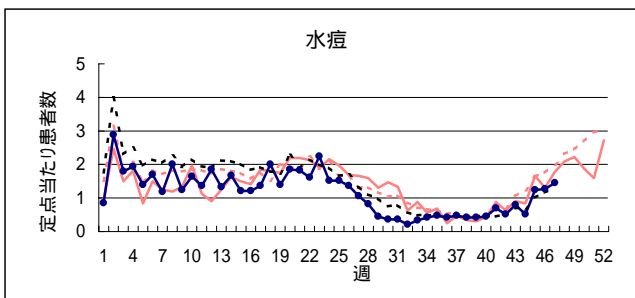
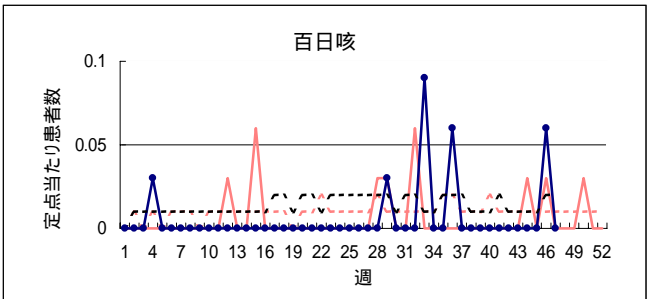
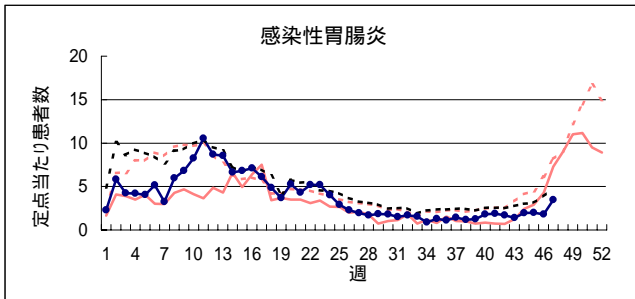
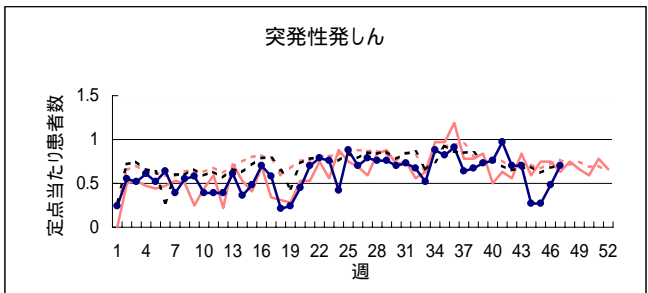
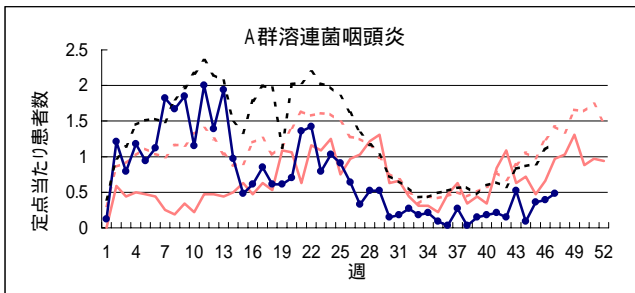
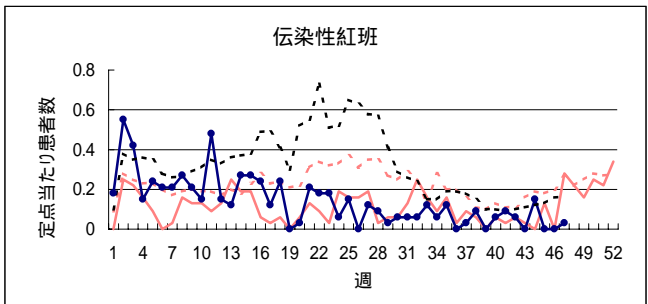
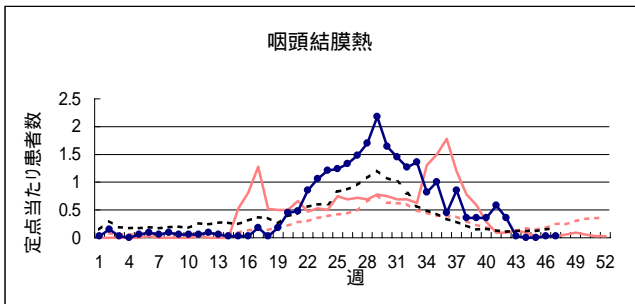
第47週における定点当たり患者数上位5疾患(感染性胃腸炎、水痘、手足口病、突発性発しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ))の保健所管内別発生状況についてみると、彦根保健所管内で多く発生し今津および長浜保健所管内においても比較的多く発生しています。水口および八日市保健所管内での発生は少なくなっています。また、感染性胃腸炎については草津、大津、水口保健所管内の順に多く発生しています。

特に、彦根保健所管内において多く発生している流行性耳下腺炎および手足口病の今後の発生動

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第47週、H15.12.29～H16.11.21)



H15 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H16 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第47週、H15.12.29～H16.11.21)

H15 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H16 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

